

「ウィーン金貨ハーモニー」「プラチナウィーンコイン ハーモニー」

2018年上半期 世界販売量と日本販売量を発表

金貨:世界販売量は約10万オンス、日本販売量は約16,500オンス

プラチナコイン:世界販売量は約5,700オンス、日本販売量は約4,000オンス

オーストリア造幣局(局長:ゲルハルト・シュタールジツヒ、本部:オーストリア・ウィーン)は、2018年1月から6月の世界市場と日本市場における資産用地金型金貨「ウィーン金貨ハーモニー」*1 および「プラチナウィーンコイン ハーモニー」の販売量をまとめました。

<ウィーン金貨ハーモニー>

【世界市場】

99,860オンス(前年同期比 約39.2%減少)

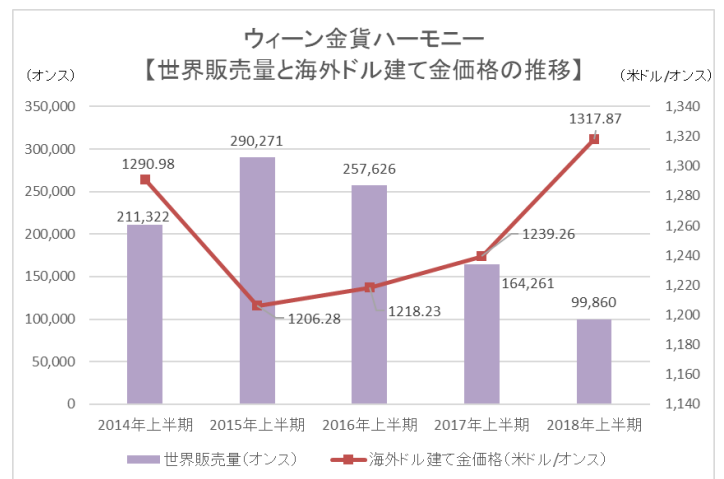
2018年1月~6月の世界販売量は99,860オンスとなり、前年同期(2017年1月~6月)の164,261オンスと比較して、約39.2%の減少となりました。

対前年比で、ドル建て金価格の平均が6%も上昇し高止まりの傾向にあり、投資家の「ウィーン金貨ハーモニー」に対する購買意欲に影響したと推測されます。

2月に米国株式が史上最大の下げ幅を記録すると、ドル安が進行しドルの代替投資先とされる金はそれに反発する形で価格が上昇。2月16日には月間最高値の1,352ドル/oz金となり、注目が高まったと推測されます。また3月は良好な米経済指標や米連邦公開市場委員会(FOMC)の利上げ決定を受けた金利先高感からドル建て金価格は軟調に推移したことで投資家間に割安感が広がり、金が選好されたと考えられます。

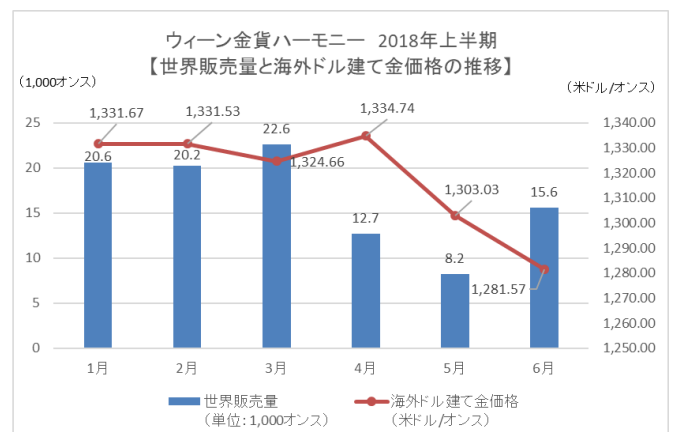
また、6月は米中貿易摩擦を背景に非鉄金属価格が下落し、それに連動する形でドル建て金価格も下落。6月29日に期間内最安値の1,250.45ドル/ozを記録し、その割安感から「ウィーン金貨ハーモニー」の販売量も前月から大幅に増加しています。

*1…日本国内は1、1/2、1/4、1/10、20オンス、世界市場は左に加えて1/25オンスも集計対象
(日本国内では一部販売店を除き1/25オンスの資産用地金型金貨としての販売はありません。)



■参考1:「ウィーン金貨ハーモニー」2018年1月~6月の世界販売量と海外ドル建て金価格(月平均価格)

2018年	世界販売量 (単位:1,000オンス)	海外ドル建て金平均価格 (米ドル/オンス)
1月	20.6	1,331.67
2月	20.2	1,331.53
3月	22.6	1,324.66
4月	12.7	1,334.74
5月	8.2	1,303.03
6月	15.6	1,281.57
合計	99.9	



*販売量は合計数や加算/減算の値に誤差が生じる場合があります。(小数点第二位で四捨五入)

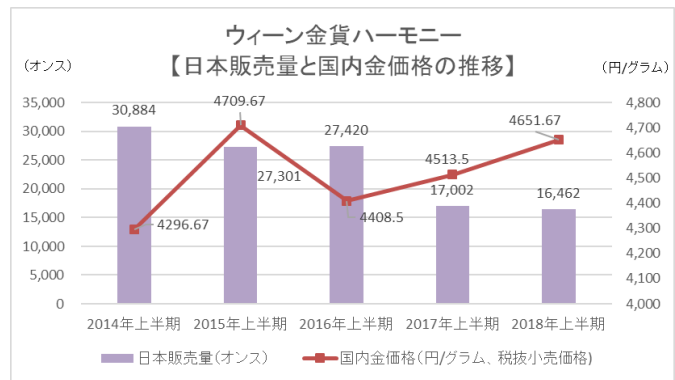
【日本市場】

約 16,462 オンス(前年同期比 約 3.2%減少)

2018年1月～6月の日本販売量は、日本総代理店である田中貴金属工業によると※2 約 16,462 オンスで、前年同期(2017年1月～6月)の約 17,002 オンスと比較して、約 3.2%の減少となりました。

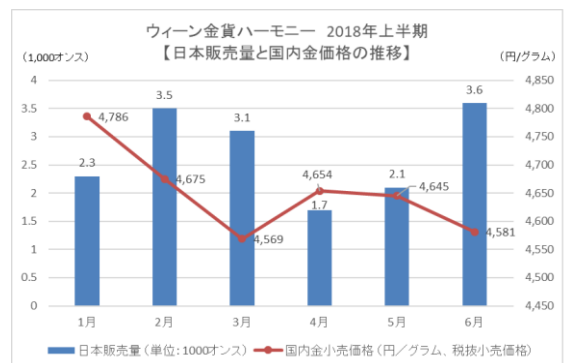
2018年2月と3月のドル建て金価格は軟調に推移しましたが、国内の円建て金価格は円高の影響を受け大きく下落しました。また、6月29日に期間内円建て金価格最安値の 4,477 円/g まで下がりました。それに伴い、2月、3月、6月の「ウィーン金貨ハーモニー」はそれぞれ 3,000 オンスを超える販売量となりました。

※2…田中貴金属工業の販売量には、買い取ったウィーン金貨ハーモニーの再販分も含まれます。



■参考2:「ウィーン金貨ハーモニー」2018年1月～6月の日本販売量と国内金小売価格(月平均価格)

2018年	日本販売量 (単位:1,000オンス)	国内金小売平均価格 (円/グラム、税抜小売価格)
1月	2.3	4,786
2月	3.5	4,675
3月	3.1	4,569
4月	1.7	4,654
5月	2.1	4,645
6月	3.6	4,581
合計	16.5	



※図表中の国内金小売価格は日本総代理店である田中貴金属工業発表の価格を使用しています。

※販売量は合計数や加算/減算の値に誤差が生じる場合があります。(小数点第二位で四捨五入)

<プラチナウィーンコイン ハーモニー >

【世界市場】

5,705 オンス(前年同期比 約 15.1%減少)

「プラチナウィーンコイン ハーモニー」は、2016年2月に1オンスを世界市場に向けて販売開始し、2017年6月に1/25オンスを販売開始しました※3。2018年1月～6月の世界全体での販売量は 5,705 オンスとなり、前年同期(2017年1月～6月)の 6,720 オンスと比較して、約 15.1%の減少となりました。

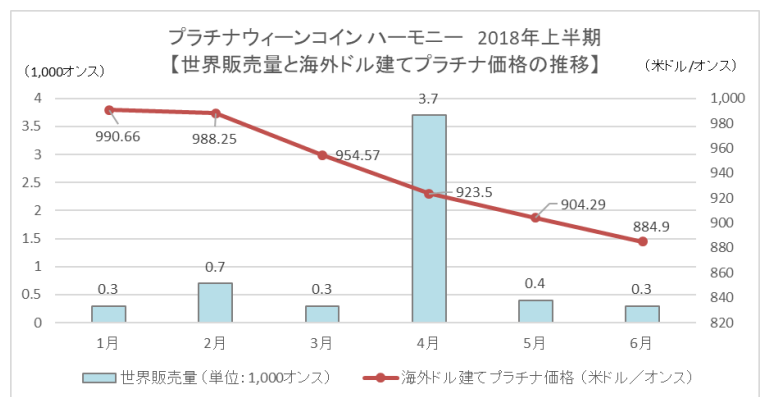
2018年のドル建てプラチナ価格は、総じて金価格と連動して推移しましたが、6月は金価格よりも急激な下落となりました。これは、工業用途が約4割を占めているというプラチナの特徴に関連していると考えられます。プラチナの需要は、ディーゼル車の排ガス浄化触媒が多くを占めますが、近年の欧州におけるディーゼル車離れにより、市場には供給過剰観測が広がっています。更に、これまでプラチナ価格を下支えしてきた中国の宝飾用需要にも鈍化傾向が見えたことで、実需が低下した事や、中国株式や非鉄金属の下落を受けて投機的売却が進んだことで、価格の下落が加速しました。

※3…日本国内は1オンス、世界市場は左に加えて1/25オンスも集計対象

(日本国内では一部販売店を除き1/25オンスの資産用地金型プラチナコインとしての販売はありません。)

■参考3:「プラチナウィーンコイン ハーモニー」2018年1月～6月の世界販売量と海外ドル建てプラチナ価格(月平均価格)

2018年	世界販売量 (単位:1,000オンス)	海外ドル建て プラチナ平均価格 (米ドル/オンス)
1月	0.3	990.66
2月	0.7	988.25
3月	0.3	954.57
4月	3.7	923.50
5月	0.4	904.29
6月	0.3	884.90
合計	5.7	



※販売量は合計数や加算/減算の値に誤差が生じる場合があります。(小数点第二位で四捨五入)

【日本市場】

3,774 オンス(前年同期比 約 4.8%減少)

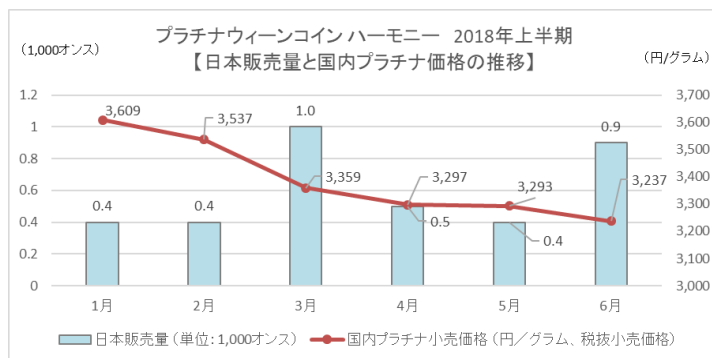
2018年1月～6月の「プラチナウィーンコイン ハーモニー」(地金型プラチナコインとしては1オンスのみの販売)の日本販売量は、日本総代理店である田中貴金属工業によると※4、3,774 オンスで、前年同期(2017年1月～6月)の3,966オンスと比較して、約4.8%の減少となりました。

国内のプラチナ月間平均価格は、2月から3月にかけて178円下落。また、6月29日には円建てプラチナ価格が3,117円/gと期間内最安値を記録しました。このことからプラチナの割安感が消費者間に広まり、3月と6月の「プラチナウィーンコイン ハーモニー」販売量が増加したと考えられます。

※4…田中貴金属工業の販売量には、買い取ったプラチナウィーンコイン ハーモニーの再販分も含まれます。

■参考4:「プラチナウィーンコイン ハーモニー」2018年1月～6月の日本販売量と国内プラチナ小売価格(月平均価格)

2018年	日本販売量 (単位:1,000オンス)	国内プラチナ小売平均価格 (円/グラム、税抜小売価格)
1月	0.4	3,609
2月	0.4	3,537
3月	1.0	3,359
4月	0.5	3,297
5月	0.4	3,293
6月	0.9	3,237
合計	3.8	



※図表中の国内プラチナ小売価格は日本総代理店である田中貴金属工業発表の価格を使用しています。

※販売量は合計数や加算/減算の値に誤差が生じる場合があります。(小数点第二位で四捨五入)

<ウィーン金貨ハーモニーとは>

地金型金貨であるオーストリア造幣局発行の「ウィーン金貨ハーモニー」は、1オンス、1/2オンス、1/4オンス、1/10オンスの4種類のサイズがあり、2009年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売20周年には、「ウィーン金貨ハーモニー20オンス」を発売しました。「ウィーン金貨ハーモニー」は予算に応じた資産作りができるほか、友人や家族へのプレゼントにも適しています。また、ペンダントやブローチなど、コインジュエリーとしても様々な商品を展開しています。「ウィーン金貨ハーモニー」の日本総代理店である田中貴金属工業株式会社(本社:千代田区丸の内、代表取締役社長執行役員:田苗 明)とオーストリア造幣局は、少額から保有することができる「ウィーン金貨ハーモニー」の提供を通じて、長期的な資産形成手段のひとつである地金型コインを広く一般に訴求しています。

ウィーン金貨ハーモニーの種類と国内参考価格

	20オンス	1オンス	1/2オンス	1/4オンス	1/10オンス
品位	99.99%(純金製)				
額面金額	2000 Euro	100 Euro	50 Euro	25 Euro	10 Euro
重量	622.07 g	31.1035g	15.5517g	7.7758g	3.1103g
直径	74.0 mm	37.0 mm	28.0 mm	22.0 mm	16.0 mm
厚さ	8.3 mm	2.0mm	1.6mm	1.2mm	1.2mm
デザイン(表)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地である楽友協会・黄金の間のパイプオルガン				
デザイン(裏)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を象徴する美しい「楽器」のデザイン				
参考価格 小売	3,194,040 円	159,702 円	81,372 円	42,097 円	17,238 円

* 参考価格は、2018年8月3日(金)9時30分発表の金価格(税込小売価格1g=4,743円)の場合の1枚あたりの税込価格です。価格は毎日変動します。



＜プラチナウィーンコイン ハーモニーとは＞

オーストリア政府が価値を保証する法定通貨である、プラチナ純度 99.95%の地金型プラチナコイン「プラチナウィーンコイン ハーモニー」は、2016 年 2 月にドイツで開催された「ワールドマネーフェア 2016」で発表され、日本では 2016 年 4 月から日本総代理店である田中貴金属工業(本社:千代田区丸の内、代表取締役社長執行役員:田苗 明)が販売を開始しました。オーストリアでは 2017 年 6 月から 1/25 オンスも販売しています(日本国内では 1/25 オンスの地金型プラチナコインとしての販売はありません)。

プラチナウィーンコイン ハーモニーの種類と国内参考価格

	1 オンス
品位	99.95%(純プラチナ製)
額面金額	100 Euro
重量	31.1035 g
直径	37.0 mm
厚さ	1.9 mm
デザイン(表)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地である楽友協会・黄金の間のパイプオルガン
デザイン(裏)	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を象徴する美しい「楽器」のデザイン
参考価格 小売	112,181 円

※参考価格は、2018 年 8 月 3 日(金)9 時 30 分発表のプラチナ価格(税込小売価格 1g=3,300 円)の場合の 1 枚あたりの税込価格です。価格は毎日変動します。



＜田中貴金属工業とは＞

田中貴金属工業株式会社は、1885 年の創業以来、1 世紀以上にわたり、金や銀を始めプラチナ族金属などの貴金属の回収・精製並びにその分析に携わるとともに、それらを用いたさまざまな産業用素材や製品の製造・販売をはじめその特性を生かした資産としての貴金属地金商品の売買を行っています。日本で金の輸出入自由化が施行された 1978 年には、金の精製・分析技術が高く評価され、日本で初めてロンドン金市場(現ロンドン地金市場協会)の公認溶解業者の認定を受け、ロンドンはもとより世界の主要市場で通用する金地金を製造する資格を得ました。また、2003 年 12 月には、ロンドン市場で取引される金及び銀の品質を審査する、世界で 5 社しか認定されない「公認審査会社」の 1 社に任命されています。グループ会社の田中貴金属ジュエリーが運営する GINZA TANAKA の各店舗(7 店舗)をはじめ、全国に広がる 97 店舗の特約店で金地金や地金型金貨等の売買を行っています。また、さらにグローバル化を推進するため、2016 年に Metalor Technologies International SA をグループ企業として迎え入れました。

＜オーストリア造幣局とは＞

オーストリア造幣局は、1194 年の誕生以来、800 年以上にわたり様々なコインの鑄造を行ってきました。その品質と鑄造技術は世界中から高い評価を得ています。1989 年、財務省傘下からオーストリア中央銀行の子会社となったオーストリア造幣局は、同年、ヨーロッパで初めての純金地金型金貨「ウィーン金貨ハーモニー」を発行、日本市場への販売を開始しました。1994 年には開局 800 周年を迎え、2004 年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売 15 周年には、世界最大級の金貨である「ウィーン金貨ハーモニー1000 オンス」を、2008 年には「ウィーン・フィル銀貨」を発行しました。また、2009 年の「ウィーン金貨ハーモニー」発売 20 周年では、「ウィーン金貨ハーモニー20 オンス」を発行し、2014 年には発売 25 周年記念として「ウィーン金貨ハーモニー1/25 オンス」を、2016 年より「プラチナウィーンコイン ハーモニー」を発行しました。2019 年には「ウィーン金貨ハーモニー」発行 30 周年を迎えます。また、当造幣局は 2019 年に設立 825 周年を迎えます。

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞

■オーストリア造幣局 駐日代表 北野

TEL:03-5640-1578 <http://www.austrianmint-jp.com>

■共同 PR 株式会社 担当:大沢、田中、伊原、斉藤

TEL:03-3571-5326 MAIL:thdpr@kyodo-pr.co.jp